がん化学療法指示書

登録番号	324
作成日	2022/5/11

レジメン名	フルオロウラシル+ペムブロリズマブ療法
診療科・対象疾患	(外)進行再発食道癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	FP+ペムブロリズマブ療法と累計で 35サイクルまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
キイトルーダ	ペムブロリズマブ	200mg/body	Day1
フルオロウラシル	フルオロウラシル	800mg/㎡/日	Day1－5

治療内容

注射

順下滴	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	day1	day2	day3	day4	day5	day6	・・・	day21
Rp1		生理食塩液	100ml	任意	ルート確保・フラッシュ用	●							
Rp2	癌	キイトルーダ	200mg	30分	点滴静注メイン	●							
		生理食塩液	100ml										
		9:15～											
Rp3		生理食塩液	50ml	15分	点滴静注メイン・経過観察用	●							
		9:45～											
Rp4	癌	フルオロウラシル	400mg/㎡	12時間	点滴静注メイン	●							
		生理食塩液	500ml										
		Rp.5と同時に開始 10:00～											
Rp5		生理食塩液	100ml	30分	点滴静注側管	●							
		デキサート(6.6mg)	1A										
		Rp.4と同時に開始10:00～											
Rp.6	癌	フルオロウラシル	400mg/㎡	12時間	点滴静注メイン	●							
		生理食塩液	500ml										
		22:00～											

順下滴	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	day1	day2	day3	day4	day5	day6	・・・	day21
Rp.1	癌	フルオロウラシル	400mg/㎡	12時間	点滴静注メイン		●	●	●	●			
		生理食塩液	500ml										
		Rp.2と同時に開始 10:00											
Rp.2		生理食塩液	100ml	30分	点滴静注側管		●	●	●	●			
		デキサート	6.6mg										
		Rp.1と同時に開始 10:00											
Rp.3	癌	フルオロウラシル	400mg/㎡	12時間	点滴静注メイン		●	●	●	●			
		生理食塩液	500ml										
		22:00～											

順下滴	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	day1	day2	day3	day4	day5	day6	・・・	day21
Rp.1		生理食塩液	100ml	任意	メインルート投与終了後フラッシュ用						●		

内服

その他 必要薬剤	
総投与時間	day1 14時間45分、day2-5 24時間、day6 10時間
血管外漏出 リスク	キイトルーダ(ペムブロリズマブ):非壊死性抗がん薬 フルオロウラシル:炎症性抗がん薬
投与時の 注意事項	キイトルーダ(ペムブロリズマブ):フィルター付きルートが必要 Infusion reaction Grade2の場合:本剤の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。
備考欄	【Infusion reaction経験例の前処置処方例】 投与前1.5時間(±0.5時間)に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠